



SDGs について

SDGs という言葉が良く使われていますが、この言葉の意味をご存じですか？

SDGs とは『持続可能な開発目標』のこと。

簡単に説明すると、今、世界中にある環境・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界の人々で 2030 年までに解決しようという計画・目標のことです。

人権や貧困なんて大変すぎる、出来ることが分からないよ～と思う人もいるかと思いますが、いきなり世界的に大きな問題からではなく、ごく身近なことから解決できる問題もあるのです。

例えば、私たちの生活の中で出てくる『ごみ』。これを限りなくゼロにしようとするのも SDGs になるのです。

今年は特に電力不足が心配されていることから、節電に対する意識を持つことも必要になってきます。これも SDGs の一つです。世界には安定した電力を供給できない国もまだ多くあります。節電だけでなく、電気を安定して供給できるように考えていくことも大事になります。

また SNS などでの悪口。例えば、匿名だから大丈夫と思ってある人を馬鹿にする、ひどい言葉を投げかける、といったことも差別になります。

そういったことをなくしていくことも SDGs になるのです。

どうでしょう？意外に身近なことから取り組めることもありそうですよね。

ごく身近なところから、SDGs につながります。まずはできるところから始めてみようかな、と思ってくれれば良いと思います。

ほかの SDGs はどういうことなのだろう、と疑問に思う人に SDGs 詳しく紹介している図書やどんなことが SDGs になるかを説明した図書が図書館にはあります。

この夏休みに調べてみると、いいかもしれませんよ。



© 裾野市

裾野市立鈴木図書館
2022.7



SDGsで見る現代の戦争

Y319 エ(YA)

国連が掲げる SDGsの達成には、戦争が大きな障害となっています。現在、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、世界中で食糧やエネルギー問題が起こっています。

とてもひどい話ですが、持続可能な未来を実現するために、世界の戦争について考える機会だと思います。

第二次世界大戦後から 2020 年までに起こった主な戦争・紛争・内戦で生まれた SDGsに関わる問題と解決になる事柄などを解説している本です。SDGsだけでなく、平和について考えてみてください。



10代からのSDGs Y333.8 ハ(YA)

SDGsの本質は「ひとにやさしい未来」づくり。

では、どんなことをすればいいのかわからない、という10代の子たちに分かりやすく紹介している本です。

最初は、ごく身近な問題と大きな問題を分けて考えてみると、それらは全てつながっている事になります。

この本を通して、自分に何ができるか、考えてみる機会になっていただきたいと思います。



図解でわかる 14歳から知る

ごみゼロ社会 Y518.5 ズ(YA)

身近にできる SDGsの一つ・ごみを出さない社会。

そんなことはできるわけない、という人にカラー図解で解説しながら、どうやってごみを減らしていくのかを考える本になります。

ごみゼロ社会は究極の世界、必ず実現しよう！と頑張るのはいいことですが、頑張りすぎてしまうと、疲れてしまいます。

本当にごく小さなことから積み重ねていくことが大事だよと教えてくれる1冊です。



小説版 であいもん YB913.6 コ (YA)

ギタリストの父と暮らしていた一果は突然、京都の和菓子屋『緑松』に預けられる。

父の帰りを待ち、心を閉ざしていた一果だったが、『緑松』の人たちの優しさに触れるうちに、少しずつ心を開いていく。

やがて一果は東京へ行ってしまった『緑松』の一人息子に代わり、自分が後を継ぐと決意する。

コミック『であいもん』の主人公・和が帰ってくる前での出来事をもう一人の主人公・一果を中心に描いたオリジナルストーリーです。



君に勧む杯 YB913.6 ニ(YA)

文豪とアルケミスト公式ノベライズ第3弾

転生した井伏鱒二の身に襲う不調。それは作品を侵食されたからだ。浄化すべく、侵食された作品を調査するが、それは井伏の代表作ではなく、あまり知られていない『かるさん屋敷』。

その世界へ潜書する井伏たち。そこで待ち受けていたのは、井伏自身と深くつながりのある一人の友、そして自分自身の過去が関わっていた。

太宰治の師匠に当たる作家で、本作品に興味を持ったなら、教科書に載っている以外の代表作を読んでいただきたいです。



異伝淡海乃海～羽林、

乱世を翔るシリーズ Y913.6 イ (YA)

『淡海乃海』の外伝版。主人公・竹若丸が朽木の跡を継げず、母親の実家である公家・飛鳥井家に戻っていたら、のお話です。

本編でも現代知識でかなりな無双をしていた主人公が公家になっても大人しくしているわけがなく、戦国乱世を生き抜くために、知恵を巡らせる。

本編でも外伝でも、縦横無尽に駆け回る主人公には脱帽ですが、そうでなければ生き残れない、という時代なのだな、と思う作品です。コミカライズも掲載されているので、そちらも読んでみてください。



生きるために必要な「法律」のはなし Y320 イ (YA)

大したことじゃない、と思っていても、実はとてつもなく大ごとで、一歩間違えれば、人生を棒に振るうことになりかねないことがあります。

SNSで特定の人に悪口を書く、ちょっとからかっただけ、と思ったのはあなただけのこと。相手からしたら、とてつもなく傷つくことになります。安心して生きていくために社会のルールとして作られたのが「法律」です。

「法律」なんて難しいよ～と思う人も多いでしょう。この本ではマンガを入れて、分かりやすく解説しているので、読みやすいと思います。



科学キャラクター図鑑

シリーズ(YA)

Hは水素でSはセレン、太陽などの惑星の特性や質量、天文……覚えることが多すぎ、説明文だけで覚えられない！という方はかなり多いはず。

このシリーズは専門分野ごとに物質や惑星などをキャラクター化して、イラストを交えて分かりやすく紹介している図書です。

分野が多すぎて苦手、と思っている方にぜひおすすめしたいシリーズです。



夏休みにおすすめしたい
研究本や進学に関する本、歴史の本も
たくさんあります。
気軽に YA コーナーを見てください。
興味をもってもらえると嬉しいです。
分かりやすいイラスト入りの本や
コミックエッセイもあります。

